



みんなでタネを飛ばしました

8月29日、標茶町立中茶安別小中学校で「夏の学校林活動」が行われ、当センターが支援しました。

まず始めに、児童・生徒全員で「樹木のタネの運び方」の説明を聞き、その後、各グループでの活動となりました。

低学年グループは、模型キットや折り紙を使って、アルソミトラやラワン等といったタネの模型を作成し、完成したものを体育館で飛ばして、タネの飛び方を体感しました。

高学年グループは、当センターで選木した校庭の8種類の樹種について、特徴等の説明を聞いた後、一人一枚、樹名板を作成しました。校庭で見られる身近な樹木について、葉の特徴や用途等が記載された、分かりやすく個性的な樹名板が完成しました。前日までの雨で校庭の状況が悪く、設置は後日、行うこととなりました。

児童・生徒からは、「タネをたくさん飛ばすことができた。」や「今まで知らなかったこともすべて良かった。」といった感想をいただき、樹木を知るきっかけになれば良いと思います。



▽完成した樹名板



▽作ったタネの模型を飛ばしている様子



▽会場の様子

子どもの笑顔が輝いていました！

9月7・8日の2日間、白糠町のハミングロードで、第32回カミングパラダイスが開催されました。

この催しは、白糠駅前の南通り商店街を歩行者天国として開放し行われるもので、町民による露天やフリーマーケット、竹馬やこま等の懐かしい遊びが楽しめる広場、郷土芸能「駒踊り」の披露等、多彩なアトラクションが繰り広げられます。

当センターは、白糠町緑化推進委員会の木育の取組みと連携し、8日にマツボックリや木の枝等の森林



▽白糠らしい羊の作品

の恵みで、木工クラフトやフォトフレームの飾付けを行いました。当センターのブースに訪れた子どもたちは、自由な発想で思い思いの作品を作っており、エゾシカやタンチョウ等の森林の動物、また、白糠町らしさが感じられる羊を作る親子連れもいて、どの作品も個性が光る素晴らしいものでした。当日は、秋晴れの一日でよく晴れ渡り、友達や親子と一緒に木工クラフトを楽しむ姿が見られ、とても嬉しそうな笑顔で、作品を持帰る子どもたちの姿が印象的でした。

森から海のつながりで

パイロットフォレストを見学

9月17日、京都大学及び北海道大学の学生等30名が、厚岸町と標茶町に広がる「パイロットフォレスト」を見学しました。

これは京大と北大が別寒辺牛川を対象として実施している「森里海連環学実習」の一環として、パイロットフォレストの見学に訪れたもので、当センターが支援しました。先ず始めに、研修棟でパイロットフォレスト造成時の様子を記録したDVDを視聴し、その後、機械展示棟で当時、使用していた機械を見学し、望楼へ移動しました。

望楼から眺望する組は、展望室がある約24mの高さから見るカラマツ林を楽しんでいるようでした。また、施業の説明を受けていた組では、真剣な眼差しで解説を聞いていました。

学生の皆さんからは、「パイロットフォレストは、もともと、どのような樹種が生育していましたか?」や「林業機械の動いているところを見てみたい。」等といった質問や感想があり、今回の見学が森・川・里・海のつながりを考える一助になれば良いと考えています。



▽施業の説明を聞く様子



▽DVDを視聴する学生の様子



林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【E-mail】h_kushiro_f@maff.go.jp

【URL】https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

国民の森林・国有林

当センターは、根釧西部森林管理署が管理経営する国有林を主な活動区域として、フィールドの特徴を踏まえて、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、企業、行政機関等の活動支援や技術指導を行っています。

